

いつもいつもどんなときも私は、本当の自分に支えられていたのです。

いつもいつもやさしい思いが本当のあなたですよと私は教えられていたのです。それに気付くだけでよかった。難しいことは何もいらなかったと思いました。

私が私を見下げていました。本当の自分を足で蹴飛ばしていました。大きな顔をして私は素晴らしいと、私は間違っていないと、自分に唾を吐きながら生きてきました。

本当に自作自演の世界でした。私は意識の世界を何か摩訶不思議な世界だと、そして神もそういう感覚で捉えてきたと思います。だから知りたいとか、それを感知できる力がほしいとか、そんな思いをこの心で膨らませてきたのだと思います。

田池留吉を信じるということは、自分を本当の自分を信じるということでした。私の中のやさしい思いを、私の中の嬉しい思いを、そしてお母さんありがとうって素直に思えるこの心を信じていけばそれでよかったのだと思います。

いつもどんなときも愛されて待ち続けてもらっている私に気付けることが幸せでした。私の中のやさしい思いだけを信じていきます。

焦らずに気負わずにただ淡々とあなたの道を歩いてきてください。心の中の私を信じて歩いてきてください。